

森林振興、農業振興政策で意見交換 日本共産党とくびき野森林組合、JAえちご上越

日本共産党上越地区委員会は4日、くびき野森林組合、JAえちご上越と懇談会を行いました。日本共産党側からはかわえ明美参院比例代表予定候補と市議団（樋口議員は視察のため欠席）が出席しました。

くびき野森林組合との懇談(写真上)では田中弘邦組合長が、「(森林振興については)一見追いつきの形だが、現実的には振興策の中身が乏しい」「公共的な建物は地元木材を使うことを原則にする。入札の時にそれを条件にしてほしい」「組合の本命は森林整備だが、それだけでは成り立たなくなっていて、請負工事とか林業廃棄物の処理などの仕事をしている」などのべました。懇談は森林の果たす役割、県産材の活用などで活発に行われましたが、国政、県政、市政の場でこれまで日本共産党が提起して

きた政策と一致できる点がいくつもありませんでした。

JAえちご上越との懇談(写真下)では市橋定吉理事長からまず、全国農協中央会の大会で志位委員長が来賓挨拶した時、拍手やどよめきが起きた様子を語っていただきました。時代の変化を感じましたね。

その後、民主党政権下でのミニマムアクセス米の問題、日米FTA交渉の問題、地域農業の担い手をどうするか、農地保全と中山間地対策などについて意見交換しました。この懇談でも農業所得補償、価格保障制度の充実や農畜産物輸入反対などで基本的な一致があることを確認できました。

両組織との懇談はとても有意義でした。今後も懇談を重ねていきたいと思えます。



新春の集いのご案内

日時 2月21日(日) 午後1時半から
ところ 吉川多目的集会場和室

主催 日本共産党吉川支部・橋爪法一後援会
会費 1人 1000円

橋爪からの議会報告、上野市議の党大会参加報告、その他、クイズなど楽しい遊びも。飲み物、漬物などの持ち込み歓迎です。



シリーズ 上越市内の橋
第25回 八反田橋

「八反田橋」と書いて「はったんだばし」と読みます。柿崎区の柿崎川にかかった橋です。近くに

「八反田」という小字があります。上杉謙信の重臣柿崎和泉守景家によって建立された曹洞宗の寺院・楞嚴寺(りょうごんじ)は、この橋から歩いて5分ほどのところにあります。

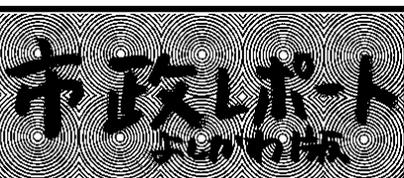
橋長は約16メートル。竣工は1978年(昭和53年3月)です。

集落再生の方向性を示す本

新しい本の紹介です。『集落再生と日本の未来』という本が自治体研究社から2月10日過ぎに発行されます。

この本は高齢化、担い手不足などの困難をかかえた集落をどのように持続させるか、再生させるかを長野阿智村、京都南丹後市等各地の事例をもとに示しています。

私もこの本の中で清里区の櫛池地区農業振興会の取り組みを紹介しています。ぜひご一読ください。定価は1800円(税別)。ご希望の方は橋爪までご連絡ください。



NO 1435
2010.2.7

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/